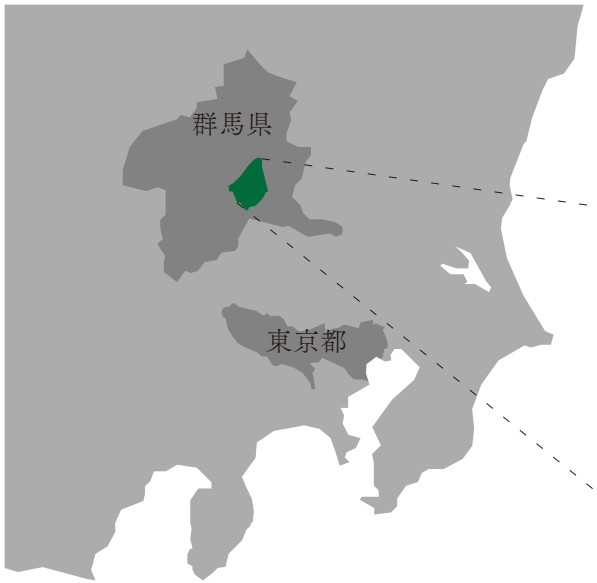
※パースはイメージです

# まえばしガレリア

施設概要パンフレット

利根川
官公庁エリア
群馬県庁
前橋市役所
まちなかエリア
萩原朔太郎記念館
SHIROIYA HOTEL
広瀬川
国道17号
アーツ前橋
まえばしガレリア
まちなか商店街を象徴する中心地に
新しいアートの拠点が誕生します
駅北エリア
国道50号
← 高崎駅
駅前けやき並木通り
↙ 東京方面
JR 前橋駅



東京駅 — 約2時間（128km） 関越自動車道利用 — まえばしガレリア

東京駅 — 50分 — 高崎駅 — 15分 — 前橋駅 — 徒歩12分 — まえばしガレリア

# 「Where good things grow.」

群馬県の県南、県庁所在地である前橋市。「水と緑と詩のまち」がキャッチフレーズの自然や文化溢れる魅力的な街。まちなかエリアでは、前橋ビジョン「めぶく。〜良いものが育つまち〜」をまちづくりの基本理念とし、新しい価値の創造都市“前橋デザインシティ”を目指して心地よい創造的空間を創出し、住む・働く・遊ぶ・学ぶ受け皿として民間再開発が進んでいます。

| | | |
|---|---|---|
| 赤城山 | 臨江閣 | るなぱあく |
| けやき<br>並木通り | 広瀬川 | 白井屋<br>ホテル |
| 太陽の鐘 | 中央通り<br>商店街 | アーツ<br>前橋 |

※パースはイメージです

# 発見がある暮らし。
# 創造がうまれる場所。
# まえばしガレリア。

これからのまちを象徴するアイコンは
前橋の新たな価値を創造する人々が
集い語らい暮らす場所。
進化しつづける前橋の中心地。
アートと生活空間が共生する
コーポラティブクリエイションハウス、
まえばしガレリア。
あらたな前橋ラバーズの新拠点が
誕生します。

１００年以上前から
約６０年近くに渡り映画館のあった場所、
地域の人々が新しい文化に触れ、
集い、親しんだ
文化と暮らしの交流拠点だった
土地の記憶をつなげるべく

発見のある暮らし、
創造が生まれる場所、
前橋ラバーズの集う拠点 として

まえばしガレリア が
２０２３年春オープンします。

ご期待ください。

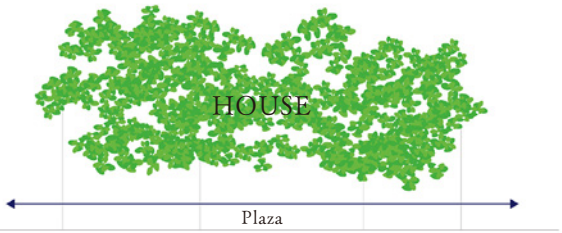
# まえばしガレリア

## コンセプトについて

これからのまちを象徴するアイコンは
前橋の新たな価値を創造する人々が
集い語らい暮らす場所。

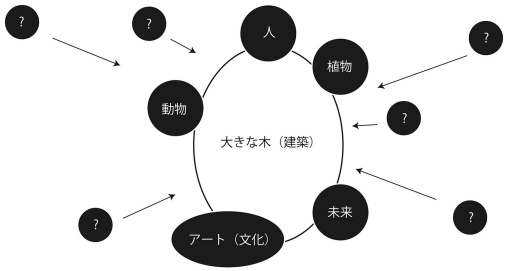
進化しつづける前橋の中心地。
アートと生活空間が共生する
コーポラティブクリエイションハウス、
まえばしガレリア。

## 建築について




この場所はどんな新しいひろばに生まれ変わるでしょうか。私たちは大きな樹冠のように緑化されたボリュームを浮かべ、一本の樹の下に人々が集まるように、人々の自由な活動で満ちた場所をつくりたいと考えました。樹冠の中にはたくさんの住居があります。全て、庭のような大きなテラスを持ち、自然と混ざった大らかな住戸です。樹の下にはギャラリーやレストラン、屋外のオープンな居場所が入り混じる、ユニークなひろばができます。めぶく緑や街の生命力とつながった、生き生きとした建築をつくりたいと思います。

## ロゴについて




意図的なイレギュラー（ノイズ）を入れ込み、均一な見え方でない複雑で面白い印象を目指す。

建築コンセプトの「大きな木をつくった」という事は、そこに人も集う、物も入ってくる、今後、新たな仲間や価値観が足されていく。大きな木に鳥が何かを運んできて、そこからまた新たな芽吹きも生まれていく。その様な進行形の状態をデザインで表現しました。

スペースコンポーザー
JTQ株式会社代表

Junji
Tanigawa

谷川
じゅんじ

(c)Luca Gabino

建築家
akihisa hirata architecture office

Akihisa
Hirata

平田
晃久

アートディレクター
AFFORDANCE inc.

Atsushi
Hirano

平野
篤史

# 1F ギャラリーとレストラン

※パースはイメージです

1F Gallery & Restaurant

1F Plan

N

Restaurant

イタリアンワインバル
Italian wine bar

代表
竹内 真

Gallery 1

タカイシイギャラリー
Taka Ishii Gallery

代表
石井 孝之

Gallery 2

小山登美夫ギャラリー
Tomio Koyama Gallery

代表
小山 登美夫

Photo: Kenta Aminaka

リン アートアソシエーション
rin art association

代表
原田 崇人

アート・オフィス・シオバラ
Art Office Shiobara

代表
塩原 将志

マキギャラリー
MAKI Gallery

代表
牧 正大

※パースはイメージです

2F－4F レジデンス

2F-4F Residence

# Residence Plan

N

2F

3F

4F

201号室　207号室
202号室　208号室
203号室　209号室
204号室　210号室
205号室　211号室
206号室　212号室

212号室（2Fとのメゾネット）

301号室　308号室
302号室　309号室
303号室　310号室
304号室　311号室
305号室　312号室
306号室　313号室
307号室　314号室

308号室（3Fとのメゾネット）
309号室（〃）
310号室（〃）
314号室（〃）

タイプA：標準タイプ
タイプB：ロフトタイプ
タイプC：メゾネットタイプ

間取りなどの詳細は
「施設概要パンフレット 2 各戸詳細情報版」をご覧ください。

## 施設の基本情報

| | |
|---|---|
| 住所 | 群馬県前橋市千代田町五丁目9-1、3、5、7、8 |
| 交通 | JR両毛線　前橋駅から徒歩12分 |
| 法令上の制限 | 商業地域、防火地域、一部準防火地域<br>建蔽率80％、容積率480％ |
| 敷地面積 | 1241.10㎡　375.43坪（登記簿面積） |
| 延床面積 | 2018.69㎡　610.65坪（確認済証面積） |
| 構造 | 鉄骨造 |
| 規模 | 地上4階 |
| 前面道路 | 南西側8m、北西側4m、北東側4m、南東側4m |
| 戸数 | 26戸 |
| 総専有面積 | 1631.81㎡　493.62坪 |
| 土地の権利形態 | 各戸専有面積に応じて所有権を共有 |
| 建物の権利形態 | 専有部分　区分所有権<br>共有部分　各戸専有面積に応じて所有権を共有 |
| 事業主 | 株式会社まちの開発舎 |
| プロデュース | 株式会社ジェイ・ティー・キュー |
| 設計・監理 | 株式会社平田晃久建築設計事務所 |
| 施工 | 宮下工業株式会社 |
| 竣工予定 | 令和5年3月（検査済証取得予定） |

## 共用部分 設備概要

| | |
|---|---|
| 電気 | 東京電力株式会社 |
| ガス | 東京ガス株式会社 |
| 給水 | 公営水道 |
| 排水 | 公共下水道 |
| テレビ | 屋上に共同視聴用設備（地上デジタル対応UHFアンテナ及びBS・110度CS<br>兼用アンテナ）を設置し各戸へ分配 |
| インターネット | NTTフレッツ光 |
| インターホン | 風除室にカメラ付集合玄関機（オートロック解錠機能付）を設置し<br>制御盤を介して各戸へ接続 |
| 防犯設備 | オートロックシステム、カラーモニタ付きインターホン、<br>防犯カメラ（11台設置） |
| 防災設備 | 全館自動自火災報知、共同住宅用スプリンクラー、<br>非常照明、誘導灯、消化器、連結送水管設備 |
| 避難設備 | 避難ハッチ、屋外避難階段 |

## ご挨拶にかえて

かつて日本近代化の先駆けとなった前橋。今「めぶく。」まちとして大きな変貌を遂げようとしています。100年以上前から約60年近くに渡り映画館のあった場所、地域の人々が新しい文化に触れ、集い、親しんだ文化と暮らしの交流拠点だった土地に新たな文化の発信源として「まえばしガレリア」が誕生します。

全体のデザインと設計を手がけるのは建築家 平田晃久氏、また谷川じゅんじ氏をはじめとする国内外を代表する様々なクリエイターや起業家が参加し、約5年におよぶ計画と建設の末、2023年春「まえばしガレリア」として再び歴史を刻みはじめます。

「めぶく。」とまえばしガレリア

2016年8月前橋ビジョン発表会で都市の指針として「めぶく。」を発表したのを契機に、白井屋ホテルを筆頭として前橋の“まちなか”では少しずつ魅力的なお店やコミュニティスペースなどが誕生し賑わいが戻りはじめています。官民連携した中心市街地の再開発から学生を中心に運営される小さなフェスティバルまで、街に関わる様々な立場の人たちが意見を交わし行動をはじめています。まえばしガレリアもこれらの活動と連携しながら、暮らす人と訪れる人が集い、文化が交流する場として、前橋からグローバルにアートと食文化を発信する暮らしの拠点として、前橋の”めぶく”活性化に貢献していきたいと考えています。

株式会社まちの開発舎
代表取締役 橋本 薫

事業主

## 株式会社まちの開発舎

宅地建物取引業
群馬県知事（1）第7808号

営業時間
平日 10:00 - 18:00

お問合せ先
群馬県前橋市千代田町2-10-2
TEL:027-212-2117
MAIL:info@towndevelop.jp

※ 本パンフレットに掲載の情報は2022年6月現在の情報で、今後変更になる可能性がございます。

www.towndevelop.jp